

表_Composition_section の情報構造

composition.section.(または composition.section.section.)の子要素のうち要素名が section でない要素を、下記表の「要素 Lv1」の位置に記載する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
title			1..1	string	”入院時診断”	〇〇セクション名のうち〇〇の部分文字列を設定する。
code			1..1	CodeableConcept		
	coding		1..1	Coding		
		system	1..1	uri	” http://jpfhir.jp/fhir/eDischargeSummary/CodeSystem/eDischargeSummary_Section ”	退院時サマリのセクションコードシステムの固定値。
		code	1..1	code	”02”など。	「表 2 サマリー本体(ボディー部)でのセクション構成」のセクションコード。
		display	1..1	string	”入院時診断”	コード表におけるセクションコードに対応する文字列。
text			1..1	Narrative		このセクションに含められるすべてのテキスト(叙述的記述)表現。
	status		1..1	code	”additional”	このセクションに含められるすべての entry 要素による情報に加えて、それらで表現し尽くせていない情報も含めた完全な叙述表現であることを示す。
	div		1..1	xhtml		xhtml 簡略形式に従った叙述記述データ。 -FHIR 仕様書より-

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
						html 要素のコンテンツは、HTML 4.0 標準の第 7-11 章と第 15 章で説明されている基本的な html フォーマット要素、<a>要素 (name または href)、画像、および内部に含まれるスタイルシートのみを含む XHTML フラグメントです。XHTML コンテンツには、ヘッド、ボディ、外部スタイルシート参照、スクリプト、フォーム、ベース/リンク/ xlink、フレーム、iframe、およびオブジェクトを含めることはできません。 空白以外のコンテンツが含まれている必要があります。 --
entry			0..*	Reference(Any)		このセクションが含まれる情報リソースの参照のリスト。 「表 2 サマリー本体 (ボディー部) でのセクション構成」の FHIR リソース種別、多重度が適用される。 セクションコード 300 の section には entry は出現しない。
emptyReason			0..1	CodeableConcept		直前の entry 要素が出現しない場合には、この要素は必須で、なぜ entry 要素が出現しないを記述する。
	coding		1..1	Coding		
		system	1..1	uri	" http://terminology.hl7.org/CodeSystem/list-empty-reason "	退院時サマリのセクションコードシステムの固定値。 コード表: http://hl7.org/fhir/valueset-list-empty-reason.html を参照。
		code	1..1	code	"unavailable" など。	直前の entry 要素が出現しない場合、特に他の明示的な事由を示せない場合には、"unavailable" としておく。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
						セクションコード 300 の section には entry は出現しないので、この場合にも“unavailable”を設定すること。
section			0..1			section の下に section をネスト(階層化)する場合に使用する。 セクションコード 300 の section には表 2 に示すネストする section が必ず出現する。

以上